



3日公示
20日投票

7月参院選



日本共産党 はたやま和也元衆院議員
=6月6日、取手青柳ヤオコー前

物価高騰から暮らしを守り、平和で希望がもてる新しい日本を

日本共産党

日本共産党 公式サイト



日本共産党の田村智子委員長は、6月5日国会内で記者会見し、参院選挙政策「物価高騰から暮らしを守り、平和で希望が持てる新しい日本を」を発表しました。

同日、日本共産党はたやま和也元衆院議員（参院比例予定候補）は、取手市内の街頭演説で、暮らしと平和・外交まで日本共産党的参院選政策を訴え、取手市民に日本共産党への支持を訴えました。



減反・コメ減産改め増産を

生産者への所得保障・価格保障

また、はたやま氏は、コメ不足と価格高騰について、「コメを作るなど農家に減反とコメ減産政策を押し付けてきた自民党農政が原因。備蓄米の放出はもちろん必要ですが、それだけでは、コメの安定供給につながらない。農家への価格保障と所得保障などで、農家さんが安心と希望をもってコメ増産に取り組める農政への転換を」と力強く訴えました。

最後に、来る参院選で比例は日本共産党へ、茨城選挙区は、高橋誠一郎さんへの支援を呼びかけました。

はたやま氏の話を聞いて60代の女性は「なんでも物価が上がり、その上コメの高騰で暮らしは大変」、70代男性は「消費税5%減税の財源の話しに納得、応援するよ」と共産党に期待の声が寄せられました。



日本共産党取手市後援会総会で挨拶する高橋誠一郎さん=5月31日

消費税一律5%へ緊急減税 大企業・富裕層 応分の負担で

はたやま氏は、「消費税5%減税こそ暮らしを守る効果抜群の政策であり、その財源は、大企業と富裕層に行き過ぎた減税をやめ応分の負担によって賄える。と財源を示し、政府は『消費税は社会保障の財源』と逃げますが、消費税導入後、

医療も介護も年金も悪くなる一方です。

食料品、衣料や日用品、水光費、携帯料金などあらゆる物価が上がる中で、なんでも誰でも消費税の5%減税と、インボイス廃止を」と訴えました。

.....日本共産党参院選挙基本政策発表.....

<基本政策骨子>

1. 消費税の廃止をめざし、5%に緊急減税します

2.暮らし優先の政治に変えます

(1) 政治の責任で物価高騰を上回る値上げを、労働時間の短縮を
(2)コメの価格高騰を抑え、安定供給に国が責任を持つ

価格高騰・コメ不足をもたらした自民党農政の大転換を

減反・減産から増産に、“市場まかせ”から国の責任で

(3)年金・医療・介護——高齢者・現役世代、若い世代の安心のために

・「年金削減制度」をやめ、“物価・賃金に応じて引きあがる年金”に

・病院の6割が赤字——国費の緊急投入で医療崩壊止め従事者の待遇改善を
・高すぎる医療費の窓口負担、国保料(税)を引き下げます

・生活保護制度を「生活保障制度」に変え、福祉の抜本的充実を

・障害者の権利として福祉・医療を保障し差別をなくします

(4)教育費の無償化めざし、子どもの権利を保障する教育に

(5)「人口減少社会」問題にどう対応するか

(6)住まい、命、暮らし、プライバシー、権利を大切にする政治を
大企業・富裕層に応分の負担、大軍拝の中止で、国民のための財源を

3. トランプ政権のもとでの日米関係——“アメリカ言ひなり”政治を改めるとき

(1)トランプ関税の撤回を求める外交、暮らしと経済を守る政治を

(2)日米同盟絶対の「戦争国家」づくりをやめ、平和つくる外交に全力上げる

4. 気候危機打開へ——正面から取り組む政治に、

2035年までに温室効果ガス75%～80%削減を

5. ジェンダー平等——個人の尊厳と人権が尊重される社会に

6. 裏金問題など政治腐敗を根本からたたし、企業・団体献金を禁止します。

参議院 比例代表

はたやま和也 新
元衆院議員
北海道・東北・北関東



井上さとし 現
党参院幹事長
参院議員
京都・東海
北陸信越

小池 晃 現
党書記局長
参院議員
東京・南関東

山下よしき 現
党副委員長
参院議員
大阪、兵庫、滋賀、奈良、和歌山

参議院
比例代表は 日本共産党 政党名で
と個人名でも投票できます

取手 6月定例市議会(6月6~19日)中間報告



加増みつ子

民主的合意による"駅前"づくりを

市は、A街区再開発ビルとの接続を前提に駅前デッキを延伸しましたが、再開発停止で行き止まりに。「地権者の同意もなく事業を推進した市の責任は大きい」との加増市議の追及に市は、「再開発前提のデッキ延伸ではなく、国道6号方面への延伸計画の下に進めた」と答弁をすり替え、過去に示された

議長 職権乱用・質問権侵害

加増市議が「図書館を核とする複合公共施設導入方針」について教育長の答弁を求めたにも関わらず、岩澤信議長は「答弁者は指定出来ない」とし、都市整備部に繰り返し答弁を指名。最終的に教育部長が答弁し

接続図面とも矛盾し、市の説明責任と市民との合意形成の欠如が問われます。

再開発停止で行き場を失った空中デッキ
(6月17日撮影)

ましたが、これは議員の質問権と、教育委員会の職務権限をも侵す行為です。

くその他>・国保税引き下げと国保基金の還元で高齢者支援。

・公立保育所保育士の正規化と保育所整備計画の在り方を質しました。

大雨や台風から市民生活を守れ

本田市議は、戸頭全域の雨水が戸頭団地内の低地のカラー歩道に流れ込む問題を取り上げ、雨水管について、枝管から本管につなぐ集水樹が詰まり排水を妨げている現状を指摘。市と下水道組合の管理区分の明確化で、十分な管理を求めました。

本田かずなり



市は「本管は下水道組合、本管に接続するまでの全ての管は、取手市が維持管理している」と説明しました。

市内全域雨水・排水施設の点検整備で水害防除を

市内全域の排水施設についての本田市議の質問に、市は「総延長約1000キロの市道の排水施設を、職員がパトロールや委託清掃で点検し、毎年市内の冠水リスクの高い場所を

重点的に管理している」と答弁。「市内道路にある36カ所の排水ポンプ施設について、大雨・台風予報時には、職員が全て巡回し点検している」と説明しました。

本田市議は、水害を未然に防ぐ体制の強化を求めました。

くその他>・住み続けられる魅力ある街づくりについて。・借り上げ公営住宅など進歩・家賃補助制度創設・住宅の専門部課の創設。・政策のパッケージ化。・農業など質問しました。



団地排水工事中の戸頭歩道

6月6日開会された市議会は、初日、白山小改良工事（第4期）、永山中改修工事、旧取手一中体育館耐震補強・大規模改修工事、学習者用パソコン取得の4件合わせて総額約22億7千7百万円の契約を議決。一般質問は11日に終わり、各常任委員会を経て19日本会議で閉会予定。本稿では、日本共産党議員一般質問の一部を報告します。

遠山ちえ子



新川・新堀（二千間堤防下）埋め立て市は環境保全に尽くせ

2020年、民間事業者が、牛久沼の二千間堤防下（新川・新堀）約26haの県の「埋立許可」を取得。2022年に「埋立許可」が取り消しに。

遠山市議の追及に市は「区域拡張の変更許可を得ずに隣接する土地の埋め立てを行った

ため取り消し」と答弁。さらに「この埋め立てとは別に、事業者から自社所有の土地活用のためと、道路工事の継続施工への6度目の許可申請が今年3月31日出され、市は、同日許可手続きを行った」と答弁しました。

同意書偽造、埋め立て土砂に不純物

遠山市議は、地元住民の改善要望にもかかわらず一向に改善されていないこと。県「埋立許可」の、事業者の同意書偽造など不法埋め立ての実態を告発。素掘りの側溝に白っぽい水、エメラルドグリーンの水たまり、ガラスやペットボトルの破片など、積み上げた土砂に不純物を含む写真を示し、住民の不安解消と環境保全へ早急に説明会を開催を要求。市は「今事業者に求めている」と答弁。遠山市議は、市管理の法定外道路

の使用許可に係る被害から環境を改善・保全する対応を厳しく迫りました。

くその他>・双葉地域の内水防除対策促進。・小貝川管内の樋管管理に「遠隔操作」設置。・介護現場の実態把握と拡充、利用者負担の軽減を求めました。



第64回茨城県母親大会in常総 私たちに出来ることから

6月8日第64回茨城県母親大会が常総市で開かれ、約560人が参加。午前中は、6つの分科会（非戦の源流をたどる講談とお話、平和と教育、地域農業と食の未来、働き方、リトミック実践講座、常総市見学）が開かれ、どの分科会も大盛況で充実した内容でした。



母親大会会場の常総市地域交流センター（豊田城）＝6月8日

「紛争地、被災地に生きる人々の声」
私たちにできることから 安田菜津紀フォトジャーナリスト語る

午後は、「紛争地、被災地に生きる人々の声」と題してフォトジャーナリストの安田菜津紀さんの記念講演。ガザ地区、沖縄、岩手、シリヤ、パレスチナ、シリア、パレスチナ、ガザ地区、沖縄、岩手、県陸前高田市など各地を巡り、そこに暮らす人々の様子を写真を通して伝え、私たちに何ができるか、小さな行動でもできる事から始めよう」と呼びかけ。大きな感動と共に感が会場に広がりました。又、県内各地の運動の交流や子どもたちの歌声も響き、感動に包まれた一日となりました。